

※水資源開発公団部分抜粋

3 「財務調査」において提起した課題に対する対応状況等(一覧表)

(3)新規の事業を原則として行わないことが決定されたもの(2事業(2法人))

法人名	事業名	財務調査の概要		課題への対応状況等
		調査結果	提起した課題	
水資源開発公団	水資源開発施設の建設・管理事業	<p>○降水量は減少傾向にあり、安定的な水供給が求められている。一方、水需要を推計する際に勘案される各指標の伸びは鈍化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口、工業出荷額は基本計画策定前よりも伸びは鈍化 ・耕地面積は減少、全体の水使用量はほぼ横ばいで推移 	<p>○新規事業の実施に際しては、水需要の動向等を十分見極めることが肝要</p>	<p>○水資源開発基本計画は、現在、見直されており、その中で整理合理化計画において決定された方針を踏まえ、7水系ごとに順次策定される予定。</p> <p>○平成9年度以降の各指標の推移は、人口の伸びは微増傾向にあるものの、工業出荷額及び耕地面積は減少、また、全国の水使用量はほぼ横ばい。</p> <p>・事業数(平成12年度):67(完成47、建設中18、調査中2)</p> <p>＜整理合理化計画＞</p> <p>○水需要等の伸び悩み等を踏まえ、新規の開発事業は行わないこととするとともに、新規利水の見込みが明確でない実施計画調査中の事業の中止、実施中事業の規模縮小等を図ることにより、全体として事業量の縮減を図る。</p>